

# ふれあい センター

## ゲートキーパー養成講座

北海道での年間自殺者は1,296人、そのうち男性の割合が約7割を占めています。(平成24年度道警自殺統計より) その要因となるうつ病は15人に1人が発症すると言われています。



そんな心の病で苦しんでいる人に気づいて、声をかける・話を聞く・見守る・必要な支援につなげるという役割を果たすのがゲートキーパー。このゲートキーパーの養成講座が3月18日、町保健センターにおいて開催されました。参加者は、保健師よりうつ病発症の元となるストレスが及ぼす影響や、うつ病に対する正しい理解、早期発見の大切さを学びました。何かとストレスの多い現代、少し立ち止まって自身や身近な人の心と身体の状態に耳を傾ける時間を大切にしたいものですね。

そんな心の病で苦しんでいる人に気づいて、声をかける・話を聞く・見守る・必要な支援につなげるという役割を果たすのがゲートキーパー。このゲートキーパーの養成講座が3月18日、町保健センターにおいて開催されました。参加者は、保健師よりうつ病発症の元となるストレスが及ぼす影響や、うつ病に対する正しい理解、早期発見の大切さを学びました。何かとストレスの多い現代、少し立ち止まって自身や身近な人の心と身体の状態に耳を傾ける時間を大切にしたいものですね。

## 新1年生へ黄色い かさのプレゼント

この春、小学校へ入学したばかりの新1年生へロータリークラブ(渡辺俊和会長)より黄色い傘がプレゼントされました。これは同クラブが、社会奉仕事業の一環として毎年行っているもので、4月7日渡辺会長



ら3名が1年生の教室を訪れて「雨の日もこのかさをさして元気に学校へ通って下さい」と児童一人ひとりに手渡しました。思わぬプレゼントに、児童たちは大喜び。笑顔で傘を受け取ると、全員で「ありがとうございました」と元気よくお礼を述べました。

## 老人クラブ総会開催

4月1日、ペペル温泉において、平成28年度の老人クラブ連合会総会が開催されました。63名が出席した総会では27年度の活動報告、収支決算報告、28年度の事業計画などが提案されました。また今年度は役員改選の年でもあり、平成26年度より同クラブ発展にご尽力をいただいた荒井一隆会長が勇退され、新会長の石原敏之さんをはじめ新役員も承認されました。石原新会長より「今年度は老人クラブ創立50周年を迎える節目の年。会員の皆様と共に記念事業を成功させたい」と就任のあいさつがなされ今年度の大きな事業成功に向けて会員一丸となり取り組んでいく意欲を見せていました。



## 玉串捧げ無事故祈願

春の訪れとともに妹背牛町交通安全祈願祭が4月5日、妹背牛神社で執り行われました。祈願祭には交通安全関係者や町内事業所の代表など40名が出席。一人ずつ神前に玉串を捧げ今年度の無事故を祈りました。

その後、交通安全推進委員会総会が開かれ、この春に着任した深川警察署吉田幸夫署長より、「今年に入り3名の方が交通事故により命を落とされている。死亡事故については昨年と同じくらいのペースで発生している。雪解けも進み、道路が乾いてくるとスピードも出しがちになる、気を引き締めて交通安全に努めていただきたい」と挨拶されました。



## 雪解けが待ち遠しい



3月30日、町総合体育館において第29回妹背牛町長杯ゲートボール大会が開催されました。16名の参加者が4チームに分かれてのリーグ戦。夏期はもちろん、冬期間も体育館で練習に励んでいる選手たちは、ナイスショットを見せはつらつとプレー。元気のよい声と共に、スティックがボールを打つ心地よい音が体育館に響きます。

雪解けが待ち遠しいとばかりに、気心の知れたゲートボール仲間とのゲームを楽しんでいました。優勝は「のぞみ」チーム、準優勝は「8区」チームとなりました。

## 遊水公園うららオープン

平成28年度の『妹背牛町遊水公園うらら』は次のとおり開園します。カーリングホールのサマーバージョンもオープンします。

天候に左右されず楽しめるカーリングホールをはじめ、パークゴルフ場などうらら公園は町民の憩いの場です。

### ■遊水公園うらら

利用開始 4月29日(金)～

### ■パークゴルフ場

利用開始 4月29日(金)～

利用時間 午前8時～午後6時

※毎月第2・4水曜日は定休日です。

※融雪状況によって利用開始が遅れる場合もあります。

### ■カーリングホールサマーバージョン

利用開始 4月29日(金)～

利用時間 午前10時～午後5時

休館日 月曜日(祝日の場合、翌日)

■問い合わせ カーリングホール TEL 32-9511  
公園管理棟 TEL 32-2063

## 交通安全の願いを込めて!

1区にお住いの耳浦さん。毎年交通安全を祈願して手編みのマスコットを寄贈し続け10年。今年は元気なイメージのひまわりがモチーフになっています。ひまわりの中心部分は、そばの実と、黒豆を貼り付けて表現しており手が込んでいます。

「貰った人が少しでも喜んでくれればうれしい」と話し、ご自身も交通安全のイベントなどに参加し、ドライバーの方へ自らの手でマスコットを手渡してみたいと語ります。

90歳を迎えた耳浦さんですが、「来年も元気だったらまた作りたいと思っているの」と意欲的で、すでに試行錯誤されている様子。

来年はどんなマスコットができるのか楽しみですね。

